

# 保育園での異文化体験エピソード



## その4 かみつき、ひっかき問題



**エ** ジプトからやって来た1歳児のAちゃんは、入園して間もない頃、子どもどうしのひっかきで、2日続けて顔に傷がついてしまいました（色が白いので、傷跡がはっきり残ってしまったのです）。

迎えに来たお父さんに「Why? Why?」と厳しく問われた担任は「Sorry Sorry」と謝りましたが、詳しく説明することができず、お父さんも、日本語が十分理解できませんでした。このため、私たちは「退園させることになるのでは…」ということまで心配し、担任も責任を感じて落ち込んでしまいました。

そこで、留学生の家族のお世話をしているボランティア通訳の方をお願いして、保育園での1歳児の生活について説明していただき、十分に気をつけていくことをお話して、理解をいただきました。

1歳児のかみつき、ひっかきについては保護者からお叱りを受けることがあり、十分に注意をしていますが、Aちゃんに対しても細心の注意を払っています。

Aちゃんは入園して10か月、日本語も少しずつ理解できて、友だちの名前も覚え、元気に生活しています。

(青木美恵子/北海道帯広市・稲田保育園主任保育士)

### 「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか?!

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp